

「学びの変革」指導展開例

小学部 目指す子供の姿 「夢中になって取り組む子ども」

<基本情報>

- ◇教育課程 遊びの指導（おはなし）
- ◇学年 小学部 第1・2学年1組（6名）
- ◇単元名 「お話遊びをしようーサンタのまちー」
- ◇本時の目標
 - 具体物を種類毎に分類することができる。（算1(2)）
 - 登場人物の問いかけに対し、言葉や身振りで応じることができる。（国1(2)）
 - 鉛筆やペンなどの筆記用具を使って、線を引いたり文字を書いたりすることができる。（国1(4)）
- ◇児童の実態 知的障害6名。うち、自閉症を併せ有する児童4名。集中力が持続しにくい。

<学習過程(抜粋)>

学習活動	指導上の留意点		
	A	E	全体
1 あいさつ (HR教室)			
3 サンタの町への冒険 ・ 雪の結晶を集める。 (スロープ、廊下)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冒険をテーマにし、<u>物語の流れに沿って活動場所を変える</u>ことで、見通しをもちやすく、<u>集中力が持続しにくい児童にとっても、意欲的に活動</u>できる。 		
4 サンタとの会話 (プレイルーム入口側)	話型を手掛かりに、サンタからの問いかけに答える。 ○言葉が出にくい場合は、話型の該当箇所を指し示す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ サンタに集めた雪の結晶を渡す時、サンタから簡単なやり取りを求められる場面を設定し、<u>必然性をもたせ、児童が考えながら会話を行う</u>ことができる。 	
5 雪の結晶の分類 ・ 集めた雪の結晶を分類する。 (プレイルーム窓側)	一人で分類する。 ○動きが止まってしまった場合は、紙に書いて指示を出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ サンタに手渡した雪の結晶は、サンタが落としてバラバラになり、<u>児童が色や形毎に分類を行うよう</u>にお手伝いする<u>必然性</u>をもたせる。 	
6 手紙 ・ 筆記用具を使って書く。 ・ ポストに投函する。 (HR教室)	キーワードを手掛かりにして、手紙を書く。 ○「楽しかった」「ありがとう」等の言葉をキーワードとして挙げておく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所々空白にしている見本の用紙を準備しておき、視写を行う。授業の内容と関連するキーワードを書いておき、<u>自分で考えて手紙を書ける</u>ようにする。 	

呉特別支援学校 小学部 学びの変革

- 目標シートに目標を明記し、児童の実態に応じた「考える」場面を設定。
- 学習した内容を他の場面で活用し、発展させる場面を設定。

ICEモデル(単元間)

- 【考え・基礎知識】: 遊びの指導「おはなし遊び」、文字、数、形、色
- 【つながり】: 生活単元学習
「ありがとうの気持ちをこめて」
- 【応用・ひろがり】: 生活単元学習
「パーティをひらこう」